

# 西宮神社発 能楽ライブ配信

幽玄の境地を動画でライブ配信。西宮市在住の観世流シテ方能楽師、梅若基徳さん(55)らが8月10日夜、西宮神社(同市社家町)で能「羽衣」を演じる。新型コロナウイルス感染拡大により公演中止が続いた中で、感染防止

策を取りながら「西宮・伝統芸能の夕べ」と題して初開催。「幸せを振りまく」演目を選び、神戸新聞グループの企業ジェッソが手掛ける動画サイト「KOBETV」で国内外に有料配信する。(小林伸哉)

## 演者「芸術の力新たな発想で」

今春以降、梅若さんらの公演は続々と中止に。「今こそ芸術で『生きる力』を培いたい」と、西宮能楽堂(西宮市鳴尾町3)を運営する一般財団法人「日本伝統芸術文化財団」が主催する。毎夏、さまざまな芸能

### 来月10日 有料

を披露し、西宮の夏の風物詩にしたいという。新緑が美しい拝殿前に特設舞台を設け、観客同士の距離を保って105席を並べる。座席のチケットは販売から約10日間で完売。世界中に魅力を発信するため、能楽では前例の少ない動画配信を決めた。

当日はカメラ3台で撮影。能の世界ではただでさえ珍しい動画配信をライブ

で行う取り組みに、梅若さんは「新型コロナがあつてこそこの発想。ピンチをチャンスに変えたい。反応が楽しみです」と意気込む。

「羽衣」では、松原に舞い降りた天女と正直者の漁師白龍が触れ合う。「人と異文化との関わり、その美しさを感じてもらいたい」。天女が美しい舞を見せ、最後に七宝を振りまく。「気持ちちがすすきりする面白さがある名曲。幸せな気持ちになってほしい。それが芸術の一番の力」と話す。

動画視聴のチケットはシテム手数料も含めて2100円。20日から「KOBETV」のサイトを通じて販売する。公演を録画した動画も期間限定で視聴できる。7月15日から梅若さんのインタビューを交えた告知映像も紹介中。ジェッソ ☎078・366・6605



公演とライブ配信への意気込みを語る梅若基徳さん＝西宮神社



「KOBETV」の「西宮・伝統芸能の夕べ」を告知する動画の一場面